

GAF (機能の全体的評定) 尺度

精神的健康と病気という1つの仮想的な連続体に沿って、心理的、社会的、職業的機能を考慮せよ。身体的 (または環境的) 制約による機能の障害を含めないこと。

コード(注 :例えば、45、68、72のように、それが適切ならば、中間の値のコードを用いること)

100-91	広範囲の行動にわたって最高に機能しており、生活上の問題で手に負えないものは何もなく、その人の多数の長所があるために他の人々から求められている。症状は何もない。
90-81	症状がまったくないか、ほんの少しだけ (例 :試験前の軽い不安)、すべての面でよい機能で、広範囲の活動に興味をもち参加し、社会的にはそつがなく、生活に大体満足し、日々のありふれた問題や心配以上のものはない (例 :たまに、家族と口論する)。
80-71	症状があったとしても、心理的社会的ストレスに対する一過性で予期される反応である (例 :家族と口論した後の集中困難)、社会的、職業的または学校の機能にごくわずかな障害以上のものはない (例 :学業で一時遅れをとる)。
70-61	いくつかの軽い症状がある (例 :抑うつ気分と軽い不眠)、 または 、社会的、職業的または学校の機能に、いくらかの困難はある (例 :時にずる休みをしたり、家の金を盗んだりする)が、全般的には、機能はかなり良好であって、有意義な対人関係もかなりある。
60-51	中等度の症状 (例 :感情が平板的で、会話がまわりくどい、時に、恐慌発作がある)、 または 、社会的、職業的、または学校の機能における中等度の障害 (例 :友達が少ない、仲間や仕事の同僚との葛藤)。
50-41	重大な症状 (例 :自殺の考え、強迫的儀式がひどい、しょっちゅう万引する)、 または 、社会的、職業的または学校の機能において何か重大な障害 (友達がいない、仕事が続かない)。
40-31	現実検討か意思伝達にいくらかの欠陥 (例 :会話は時々、非論理的、あいまい、または関係性がなくなる)、 または 、仕事や学校、家族関係、判断、思考または気分、など多くの面での粗大な欠陥 (例 :抑うつ的な男が友人を避け家族を無視し、仕事ができない。子どもが年下の子どもを殴り、家で反抗的で、学校では勉強ができない)。
30-21	行動は妄想や幻覚に相当影響されている。 または 意思伝達か判断に粗大な欠陥がある (例 :時々、滅裂、ひどく不適切にふるまう、自殺の考えにとらわれている)、 または 、ほとんどすべての面で機能することができない (例 :一日中床についている、仕事も家庭も友達もない)。
20-11	自己または他者を傷つける危険がかなりあるか (例 :死をはっきり予期することなしに自殺企図、しばしば暴力的、躁病性興奮)、 または 、時には最低限の身の清潔維持ができない (例 :大便を塗りたくる)、 または 、意思伝達に粗大な欠陥 (例 :ひどい滅裂か無言症)。
10-1	自己または他者をひどく傷つける危険が続いている (例 :何度も暴力を振るう)、 または 最低限の身の清潔維持が持続的に不可能、 または 、死をはっきり予測した重大な自殺行為。
0	情報不十分